

令和4年4月（第1回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和4年4月20日（水）13:30～14:18
場 所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）
出席者 38 / 38
欠席者 なし

○ 議事に先立ち、学長から、この4月から第4期が始まり、「ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」ということで、グリーンイノベーションセンターも立ち上がり、また、吉備中央町もデジタル田園健康特区に指定されたということで、共育共創にとって非常に良いフィールドができており、個人的には学長6年目の最終年度であり、最後の仕上げとして一生懸命やりたいと思うのでご協力をお願いしたい旨挨拶があった。続いて、新任の評議員等の紹介があり、それぞれ挨拶があった後、袖山事務局長から、新たに陪席することとなった事務系幹部職員の紹介があった。

○ 前回議事要旨の確認
令和4年3月開催（第11回）の議事要旨について、原案のとおり確認された。

○ 議 事

1 審議事項

(1) 国立大学法人岡山大学学長選考・監察会議規則第2条第2号委員の選出について
高橋理事から、資料1に基づき、今般の国立大学法人岡山大学学長選考・監察会議規則の一部改正に伴う教育研究評議会からの5名の委員の選出方法の見直しについて、部局長から4名、理事から1名の委員を選出することとし、その選出方法については、社会文化科学研究科長1名、自然科学研究科長及び環境生命科学研究科長から互選された1名、医歯薬学総合研究科長1名、小規模研究科のグループ（教育学研究科長、保健学研究科長、ヘルスシステム統合科学研究科長並びに法務研究科長）から互選された1名並びに常勤理事から互選された1名の合計5名とすること、また、研究科長が学長候補者名簿に登載された場合の取扱いについても整理した旨説明及び提案があり、審議の結果、承認された。

続いて、教育研究評議会選出の5名の委員のうち、任期満了となった3名の委員の後任の委員の選出について、上記の選出方法により3名の評議員を選出し、その任期はそれぞれの評議員としての任期とする旨の提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

(2) 教員懲戒等審査委員会委員の指名について

学長から、令和2年度の教員懲戒等審査委員会委員について、8名の評議員及び同委員会の委員長をそれぞれ指名したい旨提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

2 報告事項

(1) 2022年度入学者選抜実施状況について

舟橋理事から、資料2に基づき、2022年度入学者選抜試験の実施状況の概要について報告があり、後期日程の募集停止を視野に入れた検討をお願いしたい旨発言があった。

また、田中副学長から、1年生入学直後の休学相談等に関する現状と、本学第1志望の受験生獲得を目指した新しい入試のあり方（後期日程募集停止）について、部局とともに探っていききたい旨発言があった。

(2) 寄付講座の設置期間の更新について

那須理事から、資料3に基づき、令和4年4月1日付けで設置期間を更新することとした医歯薬学総合研究科設置の6件の寄付講座（「運動器医療材料開発講座」、「先端循環器治療学講座」、「地域医療人材育成講座」、「運動器知能システム開発講座」、「岡山県南西部（笠岡）総合診療医学講座」及び「実践地域内視鏡学講座」）の概要について報告があった。

(3) 「研究准教授」の称号を付与した教員について

那須理事から、資料4に基づき、「研究准教授」の称号をその認定要件に該当しているものと認定した1名の者に付与することとした旨報告があった。

(4) 令和4年度岡山大学予算について

袖山理事から、資料5に基づき、令和4年度の本学の収入・支出総計として753億円（運営費635億円、運営費以外118億円）を計上しており、支出予算のポイントとして、全学戦略的経費として19.5億円を計上し、教育、研究・産学共創、その他大学経営の重点事項に配分するとともに、新たに、戦略的経費内に政府による評価結果に伴う財源調整や学内評価等に伴う部局等への追加配分等に柔軟に対応するため、2.1億円の「調整枠」を創設したこと、また、重点施策や全学的課題等に機動的に対応するため、学長・理事戦略経費を1.7億円計上したほか、経常的経費、インフラ関連経費及び予備費の計上について報告があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、5月18日（水）13時30分から開催することとなった。

以上